

【令和元年度鳥取看護専門学校における学校運営評価（自己評価）の結果のまとめ】

令和2年9月現在

5点満点評価

評価項目	令和元年度 平均評点	教員自己評価
①学校経営 5項目	3.4	単年度組織ミッションを制定し、教職員は自分の担当業務と関連付け取り組んでいる。平成26年度から学校自己評価を行いホームページにもアップしている。 令和元年に高等教育の修学支援新制度の対象校に選ばれた。
②教育課程・ 教育活動 14項目	3.5	毎年授業・演習・実習評価を学生からとっている。令和元年度の授業評価(4.3)、演習評価4.2、実習評価4.5であった。その結果をもとに「鳥取県立鳥取看護専門学校教員による自己評価(講義・演習・臨地実習)」に令和2年度の方針を示した。 令和元年度訪問看護ステーションを新規開拓し実習施設変更承認申請を提出し、令和2年1月に看護師養成所における実習施設の変更承認がされた。 期待される卒業生像を「卒業生の特性」として記載しているが到達状況の分析が課題である。 2022年度カリキュラム改正の準備委員会を立ち上げており検討を進めていく。
③入学・ 卒業対策 4項目	3.5	令和元年度の鳥取県内就職者率(進学者・県外出身者除く)は91.7%と高い県内就職率維持している。令和2年度入学生については定員を下回った。定員確保のための学校PRが課題である。 学業継続のために鳥取県修学資金の令和元年度貸付者率は69.4%と多くの学生が活用している。 第109回看護師国家試験合格率95%(全国89.2%)であった。令和元年度は模試の結果を活かすために、2年生・3年生の国家試験特別講義では業者を変え専門業者による特別講義を実施した。 人権意識を高めるために、「ハンセン病患者・家族の人権問題」「SNSと人権問題」鳥取県臓器移植コーディネーターによる特別講義を実施した。
④学生生活 への支援 4項目	3.3	スクールカウンセラーによる特別講義と月2回程度カウンセリングを実施している。 エントリーシートの書き方や面接対策について、ハローワークと連携し学生が指導を受けられるように調整できた。3月に予定していた模擬面接は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。
⑤管理運営・ 財政 4項目	3.8	非常時については、地震に備えヘルメットを入学時に購入、食糧備蓄、救急箱等災害時持出し物品を更新した。 昨年度4回の職場巡視、また職場安全衛生診断(8/20)を受け、助言・指摘事項については全て対応した。 マチコミアプリを導入し全員登録し連絡体制を整え、急な連絡にも活用している。 全学生を対象に学校運営について学生アンケートをとり、学生の意見を反映するようになっている。保護者会を開催し保護者との意見交換でできた。
⑥施設設備 5項目	2.6	中央病院建替整備事業で令和元年度に中央病院解体工事と共に中央病院への連絡棟・渡り廊下が完成した。また鳥取看護専門学校第1期内部改修工事で鳥取看護専門学校の新玄関が完成し、学校から中央病院への実習のための経路が整備できた。 2年生教室の外壁雨漏りサッシ改修をし、窓の開閉ができるようになった。安全対策のため学生がよく使用する部屋の窓に落下防止の手すりを設置した。 地域医療介護総合確保基金事業補助金を利用し教育モデルの更新とシミュレーション室の整備に合わせて教育教材の予算化ができた。 新玄関完成に合わせて自動販売機を設置、在宅準備室に冷蔵庫・レンジ・浄水器を設置し学生が過ごしやすい様整えた。

⑦教職員の育成 5項目	3. 0	<p>学会や教育に関する研修に計画的に参加し復命の供覧をしいているが伝達講習は行っていない。また最近看護研究はできていない。令和元年度臨床看護研修に教員1名を派遣した。</p> <p>令和元年度新人看護教員の講義・演習・実習については、指導教員が演習案、授業案、実習についての指導をしてから臨めるようにした。看護技術演習に複数教員が協力する場合には教務会で指導方針を協議し演習に臨んだ。</p>
⑧広報・地域活動 4項目	3. 5	<p>オープンキャンパス（170名参加）、高等学校訪問（東部地区10校・中部2校）、学校ホームページの掲載、県政たよりの掲載とあらゆる機会での学校のPRができた。</p> <p>鳥取空港消火救難訓練（11/4）へ2年生が模擬患者役で参加、また科目「ボランティア活動」があり地域へのボランティア活動に参加し貢献できた。</p>
総項目 平均評価点	3. 3	<p>学生確保のための広報、教職員の育成、広報・地域活動の充実が課題となる。</p> <p>カリキュラムの内容充実に向け2022年度カリキュラム改正準備を進めていく。</p>